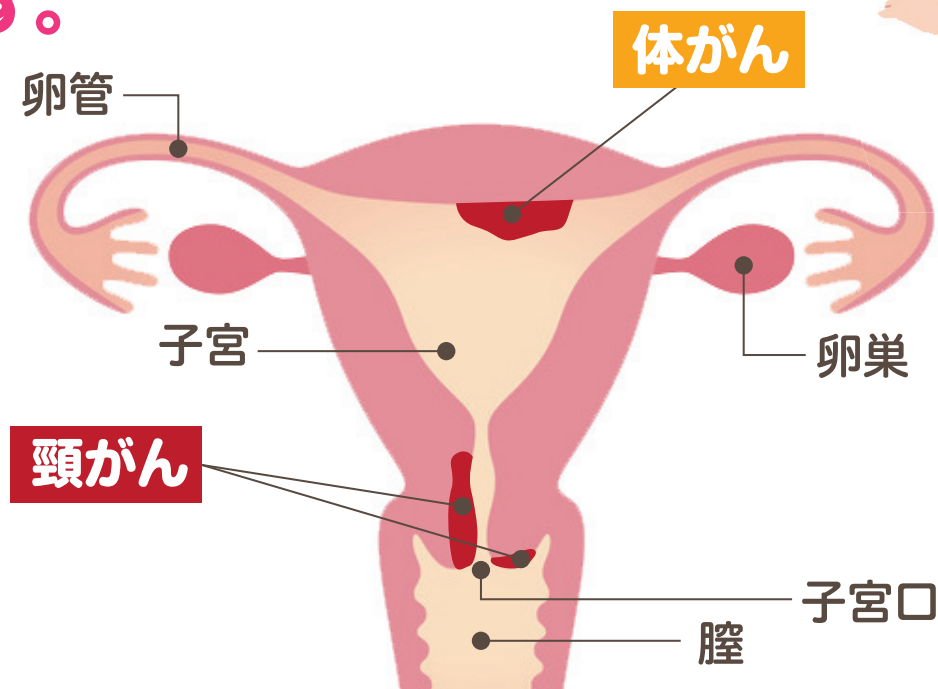
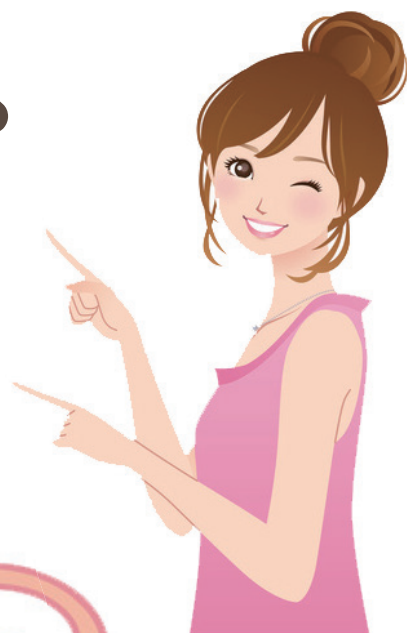


# 子宮頸がん検診を受けられる方へ

子宮頸がん(子宮の入り口のがん)を見つける検診で、視診、触診、内診(双手診)、細胞診を行います。



## 注意事項

◎性交渉の経験のない方、子宮全摘手術を受けている方の子宮頸がん検診はご遠慮させていただきますので、婦人科にてご相談ください。

◎当日生理中の方は、血液が混じり正確な検査が出来ないため、生理終了後に検診日を変更してください。(可能であれば生理終了後3日以降)

◎子宮頸がん検診は子宮の入り口である子宮頸部をプラスチックのブラシで軽く擦り細胞を採取します。検査後、一時的に出血することがありますが、通常は1日くらいで自然に止まりますので心配ありません。もし、検査後出血が多い場合や長く続く場合には婦人科を受診してください。(受診費用は自己負担となります)



# 子宮頸がん検診に関してよくある質問

**Q** 性交渉の経験がありませんが、受けられますか？

**A** 性交渉未経験の方の子宮頸がん検診はご遠慮させていただきます。子宮頸がんの発生はヒトパピローマウイルス（HPV）感染との関連が指摘されています。HPV 感染は性交渉が原因といわれています。性交渉未経験であればHPV の感染はないものと考えられます。もし心配であれば婦人科を受診してご相談されることをお勧めします。

**Q** 子宮体がん検査も受けられますか？

**A** 当施設では、子宮体がん検診は実施しておりません。

**Q** 妊娠中ですが、検診を受けられますか？

**A** 妊娠中でも子宮頸がん検診は受けられますが、妊娠中は妊婦健診として産婦人科施設で実施されています。もし、子宮頸がん検診を受けた後、妊娠が判明した場合には、産婦人科受診の際に検診結果を持ってその旨、申し出られるといいでしょう。

**Q** 子宮頸がん検診はどのようにするのですか？

**A** 診察室に入ったら下半身の下着を脱ぎます。靴下は脱ぐ必要はありません。椅子に座ると自動で台が上がり足が開きます。通常は医師との間はカーテンで遮られます。診察は内診と細胞採取を行います。診察後の出血に備えて、生理用ナプキンをお持ちいただき使用されると安心です。

**Q** 内診台で子宮頸がん検診を受けている時の注意点は？

**A** 診察・検査の際には緊張されると思いますが、できるだけ全身の力を抜いてください。力が入るとお尻が診察台から浮き上がり、腹筋が硬くなって内診が十分にできず異常が見過ごされてしまうことがあります。

**Q** 婦人科に関して日頃から気になることがあるのですが、検診の際に尋ねてもいいですか？

**A** 検診時に遠慮なくお尋ねください。

**Q** 子宮頸がん検診の後、お風呂に入ってもいいですか？

**A** はい。入浴していただいて大丈夫です。

**Q** 検診結果で精密検査が必要と通知が届くことがあると聞きました。がんでしょうか？

**A** 細胞診で異常細胞が出た際には精密検査が必要です。ただ異常といってもすべてが、がんというわけではなく、精密検査の結果で判断しなければなりません。精密検査を受けるように通知があれば、必ず婦人科を受診して精密検査をお受けください。また、その後については受診された婦人科医の説明と指示に従ってください。

